

| 方針と重点  | 市の基本施策                   | 学校の教育目標                              | 資質・能力を育てたいとの関わり                     | 基本施策  | 本年度新たな学校の重点  | 具体的な実践内容または観点<br>(手立てとしてどうか、または達成度はどうか)  | 評価<br>A<br>S<br>D  | 分析と改善点   |
|--|--------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---|--|--|--|--|
| 方針・重点<br>・挑戦し続けるたくましさの育成<br>・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む | ①②③④<br>深い学びを体験できる授業への挑戦 | ①地域生活と協働できる授業への見届け<br>②一人ひとりの居場所をつくる | 磨く<br>自主<br>友愛<br>一之宮愛<br>自ら、変化を求めて | 変化を恐れず進化を求め、自分の考えをもち、進んで対話する力を自ら、変化を求めて     | ① 「自己内対話」を活性化する授業の創造   | 1) 自分自身の考えを持つ場を必ず設ける<br>2) 単元内で重点とすべき授業では、仲間と意見を深める場を必ず設ける<br>→ 「対話して学習している」 本校生徒94% | A  | <b>本校</b><br>・自分なりの考えをもち、生徒自身で対話しながら解決しようとする姿が高まってきた。<br>・どの生徒にも基礎学力を定着させせる。→授業研究に加え、個別支援の視点で職員チーム体制で取り組む。<br>・個々に自分の生活を見つめ、問題意識をもつ指導をする。<br>・生徒会は、より良く変化するための提案・自分達で行動を起こす流れができつつある。→自治意識を高め、問題・目的意識をもって企画提案し行動を起こさせる。<br><b>にじ色</b><br>・生徒アンケートの平均…授業はわかりやすい：86.4%<br>・集団で学ぶことが苦手で、学習進度に個人差があるため、生徒同士で意見を交流することは難しい。→メタモジの付箋機能等を利用し、仲間の意見を参考にする。 |
|  |                          |                                      |                                     | ① 「自分で求め、自分で考え、自分で答えを出させる」という営みを大切にしたい授業づくり | 1) 各教科アンケートにおいてそれぞれの教科が「好き」とても好き」とが90%以上<br>→ 本校生徒95%、にじ色生徒86%                     | A  |  |  |
|  |                          |                                      |                                     | ② 生徒による質の高い生徒会活動の充実                         | 1) 前期・後期の生徒会総会における各委員会への質問や意見を伝える生徒率 90%以上<br>→ 本校生徒92%                            | A  |  |  |
|  |                          |                                      |                                     | ① 「にじ色」の学びのスタイルの確立                          | 1) 各学年における年間授業時数の確保<br>2) 一人一人の所見・評定方法の確立<br>→ 「入室してよかった」 にじ色 生徒90%、<br>にじ色 保護者94% | A  | <b>にじ色</b><br>・通知表と三者懇談会資料で、個々の評価や所見を丁寧に伝え、今後の学習意欲につなげた。<br>・個々の状況に着目して支援し、生徒全体の年間平均出席率(4月～1月の登校率)は 78.0%。オンラインにより、出席率が約10%増えたのは大きな成果。<br>・1年生範囲から学び直したい生徒が多く、学年に応じた学習を進めることが大変難しい。カリキュラム見直しが必要。<br><b>本校</b><br>・「なりたい自分」について、教師主導から生徒会主体へと動き出した。→今後は生徒からの動き出しで計画や評価をする。期ごとの目標をしっかりと意識し、全校で「なりたい自分」の記入日を設ける。個々に達成感や新たな目標をもつ場や、仲間の変化を認める場などを位置づける。 |  |
|  |                          |                                      |                                     | ② 「なりたい自分」を軸にした具体的な目標をもてる取り組みの充実            | 1) マンダラによる「なりたい自分」に近づくためのマンダラによる計画と確実な未届け<br>→ 「変化を起こそうとしている」 本校生徒98%              | A  |  |  |
|  |                          |                                      |                                     | ② 「にじ色」における一人一人の居場所づくり                      | 1) 各月の出席率平均 80%以上<br>→ にじ色生徒89% (オンライン授業含む)  | A  |  |  |
|  |                          |                                      |                                     | ③ 小中が連携した一之宮学園構想の推進                         | 1) 合同運動会終了後の生徒の満足度90%以上<br>2) 小中が連携した防災教室の開催<br>→ 「活動の満足度」 本校生徒99%                 | A  | <b>本校</b><br>・合同運動会の充実度は高く、小学生との関わりが大切。<br>・結団式は小学校と別々の動きだった。→合同の意義を考え、取組期間中に合同の活動を仕組む。<br>・文化祭でみややんプロジェクト立ち上げ→町の活性化のため、生徒が主体的にアイデアを出して取り組む活動をメインにする。<br>・地域と関わる行事や活動が多いので、より生徒自身が主体的に活動していけるような指導や、総合の精選が必要。<br><b>にじ色</b><br>・本校生徒会との交流や授業・部活動の参加が一部実現した生徒がいた、3年生が実力テストを本校で一緒に受けた。<br>・防災教室は本校と同日に、にじ色独自の体験を行い、防災に対する意識を高めることができた。               |  |
|  |                          |                                      |                                     | ③ まちづくりへの積極的な参画                             | 1) 位山トレイルへの生徒ボランティア参加<br>2) 一之宮文化祭の運営への参画<br>→ 「地域貢献を考える」 本校生徒86%                  | A  |  |  |
|  |                          |                                      |                                     | ④ 本人の向上心やライバル心を大切にしたいOJTや若者による自主研修の充実       | 1) 2ヶ月に1回以上、リーダー層にOJT開催の進行状況の確認 → 実施状況90%<br>2) 若手自主研修(校長室) 各月1回以上開催<br>→ 実施状況92%  | A  |  |  |

学校運営協議会における主な評価内容

・町文化祭の芸能発表会や合唱交流会等で、合唱する生徒の歌声に感動した。「みややん大作戦」の活動は、「宮傘」の存続のため、地域貢献しようとする生徒の意気な姿が嬉しい。2年生の張りぼて「みややん」の完成度が高い。各学年で、ミニマスコットや張りぼて、顔はめパネルを製作し、地域にアピールし地域に愛されるキャラクターの発信がされていて有難い。  
 ・学校便りが楽しめた。学校で指導・支援があるからこそ、登校時の子どもと地域の人との対話が増えている。生徒の指導・支援がきめ細かく、学校職員の妥協のない努力が感じられる。保小中が一体となって教育活動ができるのが、一之宮地域の財産だ。